


保育理念	一人ひとりを大切に、心豊かに、たくましく生きる子どもを育成する	
めざす子ども像	自然に親しむ子	・五感を通して豊かな感性を育てる。 ・自然体験を通して豊かな感情・好奇心・探究心・思考力・表現力の基礎を培う。
	友達を大切にする子	・人との関わりの中で、自主・自立心及び協調の態度を養う。 ・道徳心の芽生えを培い、お互いに認め合う仲間作りを努める。 ・言葉による伝え合いができるようにする。
	外で元気に遊ぶ子	・遊びを通して、学びに向かう力を育む。[熱中・挑戦・驚き・多様な発想・素直さ等] ・困難に立ち向かう力を育む。
保育教育方針	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の定着を図り、健康な生活リズムを身につけ、乳児期にふさわしい生活を展開する。 ・五感を通しての学びを大切に、生きる力の基礎となる意欲・心情・態度を養う。 ・一人ひとりの発達や育ちを大切に、理解と受容、共感しながら、子どもにとって心豊かで安定した生活の場にする。 ・園小の連携を推進し、小学校への滑らかな接続を図る。 ・職員の資質・専門性の向上を図る。 	

自己評価結果(達成状況)【A:達成している B:概ね達成している C:あまり達成していない D:達成していない】

評価の観点	評価項目(取組内容)	取り組み(達成)の状況	達成状況	改善の方策(今後について)	関係者評価委員から
園運営	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の資質向上 ・計画性のある研修の実施 ○組織体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修の充実を図った。 ・市教委主催の公開保育等の研修や、町保協の各学年研修に計画的に職員が参加した。外部講師も計画的に招聘できた。 ・オンライン研修(体験遊び等)にも振り分けて参加した。 ・研修での学びを午睡の時間や職員会で共有した。 ○報・連・相を適宜行い、情報を共有し、円滑な組織運営に努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン研修も含め、自主的・意欲的に参加し、学んだことの共有の仕方をさらに工夫し、資質の向上に努めたい。 ・外部講師の招聘は昨年並みとするが、園内公開保育を充実する等、身近な実践事例を通して職員同士が学び合う機会を増やしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートを読ませていただき、保護者の反応も良く、子どもたちが喜んで楽しく園に通っていることがよく分かる。 ・目指す子ども像を大切に取組んでほしい。
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ○教育・保育課程の作成 ○指導計画の作成・反省 ○発達過程に応じた教育・保育 ○環境を通して行う教育・保育 	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回目の緊急事態宣言期間中は、全園児対象の保育教育はできなかったが、詰め込むことはせず、一人ひとりをしっかり「みとる」ことに重点を置き、教育・保育要領に示されたねらい、内容を取り入れた編成を行った。 ○一人ひとりを大切に、発達年齢に応じた教育・保育に取り組んだ。 ○主体的に子どもたちが活動できる環境を整えるように努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・園児一人ひとりの育ちの過程や興味関心に基づいた関わりがもてるように、「みつめる」「追う」ことにこだわり、遊びや学びの過程の写真的掲示等「見える化」を図る。 ・各クラスの運営の交流を活発化するために、「園児たちが主体的に関わる環境作り」に絞って交流に努める。 ・朝の時間や午後の時間における異年齢保育の課題と成果の共有化を探っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気づきから活動を広げていく学びをしてきている。単発に見える活動でも1年通したら連続していることが、通信等を見ると色々と配慮していただいている。 ・習慣づけて教育したい内容があるなら、各家庭で習い事をさせて対応してはどうか。子どもの教育を園に任せるのは違うと思う。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ○親子の育ち合いの場としての役割や機能の充実 ・すくすくひろば開設、子育て相談、講座等の開設 	<ul style="list-style-type: none"> ○「すくすくひろば」を年100回実施した。(新型コロナウイルス感染症防止のため期間縮小する) ・6月からの人員配置となったが、子育ての悩み相談等にしながら、計画的に開催できた。 ・登録園児への通信配布と、HPへの通信掲載、よい子ネット登録等により、園内での子どもたちの様子を知らせていただき、啓発できた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染症が落ち着けば、氷上地域内「すくすくひろば」同士の交流に広げていきたい。 ・通信をHPに掲載することや、利用者の登録によりよい子ネットを活用することを継続する。 ・園庭開放等、園内行事等との調整を継続していく。 ・育児相談・保護者研修等の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策(手洗い・消毒・換気)を徹底してもらったおかげで、今年は元気に通えているので感謝している。 ・アフタースクールについて不安があったが、アフターの先生との会議があると聞き安心した。
安全安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ○園舎の安全、安心確保 ・園舎や遊具の安全点検及び管理 ○職員の危機管理能力の向上 ・防災訓練の実施 ○交通安全指導の推進 ○健康観察、健康診断、歯科検診の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○各月末の安全点検を実施した。 ○毎月避難訓練を実施した。(火事、地震、水害、不審者) ・時間帯、担当者を変え、職員の共通理解を図った。(想定に合わせた避難経路を工夫した。) ○事故報告書、ヒヤリハット報告書を活用し、事故防止へ繋がった。 ○新型コロナウイルス感染症防止対策を中心に、園児の健康管理に努めた。 ・保健だよりを発行により、感染症対策や健康な生活の仕方を知らせた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の避難訓練の内容を工夫し、計画的に、あらゆる場で状況判断をし、行動に移すことができるようにし、危機管理意識を育てるようにしていく。 ・事故報告書やヒヤリハット報告書等で、共有化を図り、事故後の対応について考察を行い、事故防止に繋げていく。 ・新型コロナウイルス感染症防止対策により、他の感染症の流行も少なかったが、保健だよりやよい子ネットを活用し、保護者への感染拡大防止・感染予防意識の向上に繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者送迎の際の安全について、園で色々と対応してもらっていますが園と家庭で連携して「保護者と手をつなぐ」「通用門を出たら走らない」等約束事を意識させていくことが大切。 ・みんなでいくさとの子どもたちを見守っていますよという雰囲気を作るためにも、保護者同士が顔見知りになれる機会があればよいと思う。
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりの特性や発達課題に応じた支援計画の作成と実施 ○専門機関、教育機関との連携 ○途切れない支援の推進 ・家庭との連携 ・小学校との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援コーディネーターを中心に、個々の園児にあった支援の方法を探った。 ○専門機関との連携を図った。 ・支援の必要な園児と一緒に専門機関に出向き支援の方法を探った。 ・面談の中で保護者の思いを聞き取り、小学校の特別支援コーディネーターや関係機関に繋ぐことで、安心して進級や就学ができるようにした。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援の必要な園児には、個別計画を作成し、そのことを共有する場も設定し、必要な支援に努めていく。 ・巡回相談や支援センター等と密に連携をとり、日ごろの教育・保育に取り組むよう心掛けていく。 ・小学校の特別支援CO、や園小接続推進担当、関係機関(アフタースクール職員)との打ち合わせを通して、保護者の思いを大切につないでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもによって園に慣れることも個人差がある。 ・言葉使いについても今は色んな言葉を見聞きする。子どもはすぐ吸収するので、そんな時、園と相談しながら連携してほしい。 ・便利な世の中になっているが子どもの為にはどうなのか、しっかり見極める必要がある。
家庭・地域・他校種との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○信頼される園作り ・情報の発信・受信 ・園行事への積極的な参加の推進 ○小学校との連携 ・互いの学びの場となる計画的な交流 ○地域とのつながり 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報に留意しながら、情報発信に努めた。 ・一人ひとりの園児に対し、みとったことを連絡帳で知らせた。 ・園だより・クラスだより・給食献立予定表・保健だより等で、取組の意図や様子を発信した。 ・HPやよい子ネットを活用して、園の取組や子どもの様子を具体的に知らせた。 ○参観日・給食試食会(4歳児)を開催した。 ・具体的な子どもの姿を通して、園の教育・保育、給食への理解をってもらう機会とした。 ○小学校交流 ・計画的に相互の学びを積み重ねていけるように交流を行った。 ・園小合同の打ち合わせの会議を実施した。(3回の予定) ・アフタースクール職員との合同会議も実施した。 ○地域交流 ・地域・保護者の方を「栽培の先生」「ダンスの先生」「絵の先生」「料理の先生」としてお迎えし、保育教育や体験活動の充実を図った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿から学ぶだけでなく、保護者の声からも学ぶ体制を整え(保護者会役員における、地域・園との橋渡し役を継続して設置し、一層の連携を図っていく。)、家庭と園との相互理解を図る。 ・保護者参観日のあり方も工夫しながら、子どもたちの生の姿が見られるようにする。 ・一つひとつの行事(前:前回の反省を踏まえる、後:感想や意見の収集方法をマニュアル化する)を終えた後、反省点をまとめ、振り返ることで、次に向けての改善等を検討していく。 ・小学校職員やアフタースクール職員との「園小連絡会」を持ち、計画を立てて交流を行う。その後、反省会を持ち来年度へ繋げていく。 ・地域・保護者の方を「先生」として招聘し、体験活動の質を向上させ、つながりを充実させていく。 ・「柏原の郷」との交流も継続し、今後も交流していきたい。 ・本園の取組を、自治振興会広報「生郷」を通して、地域の方々に知っていただく機会としていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東小学校との交流については、コロナで難しい状況の中よく検討していただいている。保護者にも経緯を伝えてアピールしてもよいのではないかと。 ・発表会ではクラスごとの参観で人数制限が一人だったので、家族に見せるためビデオを撮影するとなると生で見れないのでとても残念である。一人に制限されるのなら、ビデオを園で撮るなど考えてほしい。保護者は子どもの頑張りをゆっくりに生で見れた方がよい。 ・運動会では入れ替え制でゆったり見れてよかった。園庭が狭いので入場(人数)制限や入れ替え制にしたらいと思う。そうすると早くから並ばなくてもよいのではないかと。

こども園関係者評価のまとめ

<p>こども園関係者評価を受けての次年度の改善の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの姿に学び、保護者の声に学ぶ」姿勢を継続し、さらに情報発信を充実させていく。 ・なお一層の働き方改革を推進し、保育・教育の質の向上を日々積極的に図っていく。 ・家庭(保護者)・地域(小学校等含む)・こども園との連携を推進していく。 <p>令和3年3月31日 園名 認定こども園いくさと 園長名 安田 和仁</p>	
---	---

こども園の先生方、今年一年はコロナ対応で大変だったと思う。本当にご苦労様でした。先生方は日夜大変だったと思うが、それが今年度のアンケートに反映されている。敬意を表します。これからの教育、保育をよろしくお願ひします。